

若年層からの多重債務相談について

1 新規相談における若年層の割合がコロナ期に増加して以降、高止まりの状態にある

表1 新規相談者の年代別内訳

	R2 (N=807)	R3 (N=945)	R4 (N=1131)	R5 (N=1161)	R6 (N=1274)	R7 4-12 (N=960)
20代以下	10%	13%	16%	15%	15%	14%
30代	16%	15%	19%	19%	18%	16%
40代	23%	23%	21%	19%	18%	20%
50代	26%	26%	22%	23%	24%	21%
60代以上	25%	23%	22%	24%	25%	29%

表2 最近の新規相談の状況

	令和3年 4月-12月	令和7年 4月-12月
全世代	654	960
20代以下	85 13%	132 14%
50代	166 25%	207 21%

2 若年層は他の年代に比べて、浪費により借金が膨らむ例が多く見られる

表3 借入の動機別割合

借入の動機 ※複数回答	20代以下					(参考) 50代				
	令和3年 4月-12月 (新規相談者85人)		令和7年 4月-12月 (新規相談者132人)		割合変化状況	令和3年 4月-12月 (新規相談者166人)		令和7年 4月-12月 (新規相談者207人)		割合変化状況
内 容	件数	割合	件数	割合		件数	割合	件数	割合	
遊興費・交際費	24	28.2%	49	37.1%	8.9%	15	9.0%	39	18.8%	9.8%
ギャンブル	7	8.2%	14	10.6%	2.4%	9	5.4%	10	4.8%	-0.6%
物品購入	27	31.8%	43	32.6%	0.8%	35	21.1%	43	20.8%	-0.3%
突発的出費	6	7.1%	20	15.2%	8.1%	5	3.0%	26	12.6%	9.6%
教育費	14	16.5%	14	10.6%	-5.9%	29	17.5%	29	14.0%	-3.5%
借金返済・保証債務	10	11.8%	16	12.1%	0.3%	23	13.9%	32	15.5%	1.6%
家計補助・低収入	36	42.4%	46	34.8%	-7.6%	83	50.0%	84	40.6%	-9.4%
収入減少・失業	30	35.3%	58	43.9%	8.6%	61	36.7%	94	45.4%	8.7%
事業資金	3	3.5%	2	1.5%	-2.0%	12	7.2%	27	13.0%	5.8%
悪質商法	8	9.4%	15	11.4%	2.0%	3	1.8%	12	5.8%	4.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	0.6%	2	1.0%	0.4%
その他	11	12.9%	15	11.4%	-1.5%	28	16.9%	19	9.2%	-7.7%
その他の内容	転居5、知人・家族支援 2、免許1、ダイエット1 留学1、ペット1		転居5、エステ・美容 4、家族知人支援4、更 新料1、罰金1、結婚1、 免許1			医療費6、転居4、車2、住 宅ローン・改築5、家族知 人支援4、カード使われた 3、養育費2、納税1、婚費 もらえない1		医療費4、美容2、転居3、 家族知人支援3、住宅ロー ン3、納税・社会保険料2、 車1、占い1、浪費・オンラ インゲーム2、差押え1		

3 若年層の相談から感じること

消費者環境の変化

- SNS等により入手できる情報量が膨大に
 - ・ 美容系 ・ 出会い系 ・ ゲーム ・ 投資
 - ・ マルチ ・ 自己啓発 ・ 地下アイドル 等
- ネット上で様々な事が常時できるように
 - ・ 推し活 ・ ゲーム ・ 競馬等ギャンブル
 - ・ 占い ・ 自己啓発 ・ オンラインカジノ 等
- 期間限定や射幸性のある商品が身近に
 - ・ ゲーム×アイドル、アニメ×カフェなどのコラボ企画
 - ・ コンビニくじ 等

多重債務に至るケース

- SNSや友人からの情報 ⇒ 信じて詐欺にあう
 - 借入れができるアプリ
 - 後払いサービス (BNPL)
 - 携帯キャリア決済など
- } ⇒ 簡単なので
こまごまと
借りてしまう

⇒最近の傾向として、ネット上でのギャンブルによる多重債務相談が、若年層だけでなく、高齢層にも広がっていると思われる。

4 若年層相談への対応

- (1) まずは現状を立て直そう、という視点での声掛け、提案
- (2) 他と同じく、一人の大人として接し、相談者が自ら決断して実行できるような提案を行う (社会経験が少ないこと、知識が不足していることから、より丁寧な説明が必要)
- (3) 親との関係が悪い場合や親の対応に問題があると思われる場合は、親との調整や親への助言も必要。必要に応じて、都立精神保健福祉センターへ、親子それぞれをつないでいる。

相談員として、次々と出現する新しいサービスや事象に対して、情報収集と勉強が必要